

# ドキュメンタリーが 記録した満州移民

講師 <sup>てづか</sup>手塚 <sup>たかのり</sup>孝典さん (信越放送ディレクター)



河野分村入植式 原愛子さん寄贈写真/飯田市歴史研究所



帰国した弥栄村長野屯の人たち  
長沼とめ子さん提供写真/飯田市歴史研究所

6/24 **土**  
飯田市公民館 (ムトスびらざ)

第1講 13:30 ~ 15:00

「満蒙開拓の残像  
～国策と棄民の戦中戦後史～」

第2講 15:20 ~ 16:50

「東アジアからの問い  
～中国帰国者と朝鮮人満州移民の声～」

## 申込み

①会場での受講 ②ご自宅等でのオンライン受講のどちらかでご参加いただけます。

会場は6月22日(木)、**オンラインは6月15日(木)**までに電話、FAX、メールのいずれかで受講場所と電話番号をお知らせください。

※オンラインは郵便番号と住所もお知らせください。

資料代 500 円 ※高校生以下無料

# ドキュメンタリーが記録した満州移民

## 講師より

20年にわたるドキュメンタリー制作で出会った人々との対話を手がかりに、満州移民の歴史に視点を置くことから、現代社会が抱える課題や歪みを読み解いていきます。

第1講では、河野村開拓団の悲劇を村長・胡桃澤盛の日記と体験者や残された人々の証言でたどるとともに、原発事故後の福島に戦後開拓地を訪ねた取材を振り返り、繰り返される国策の過ちと棄民の構図や背景について考えます。

第2講は、戦後の日本が遠ざけてきたアジアから見た満蒙開拓に焦点をあてます。中国帰国者の視点で戦後社会を問い直し、日本が支配する朝鮮から送り出された朝鮮人満州移民の知られざる苦難の歴史を証言と史料をもとに検証することから、現代の日本社会の底流によどむ思想や精神性を探ります。

## 講師プロフィール

てづか たかのり

### 手塚 孝典さん

ドキュメンタリー制作者。信越放送ディレクター。1965年生まれ。1997年、信越放送に入社。満蒙開拓を取り上げた番組『刻印—不都合な史実を語り継ぐ』(2014年)が日本民間放送連盟賞最優秀に輝く。また、『遼太郎のひまわり—日中友好の明日へ』(2013年)、『棄民哀史』(2015年)、『汐風(ゆうな)の花園—原発の町の片隅で』(2019年)が同賞優秀を受賞した。著書に『幻の村—哀史・満蒙開拓』(早稲田大学出版部、2021年)がある。

★飯田アカデミアとは、歴史学における第一線の研究者に、最新の研究をわかりやすく紹介していただくものです。